

安心住宅！（新築木造住宅壁量計算システム）

2階建て以下の在来工法木造住宅の一貫処理構造計算

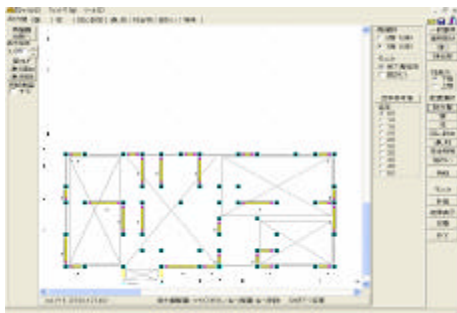
このシステムの確認申請用計算処理出力内容は4項目4号 特例見直しで必修

壁量の検討

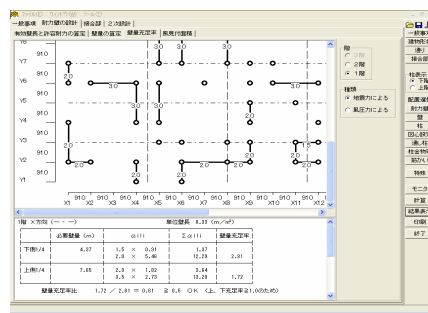
建築基準法施行令第46条第4項の規定に基づき必要壁量と存在壁量を算出し、存在壁量が必要壁量を超えている事を確認する。

壁量充足率の検討

平成12年告示1352号に従って両端1/4のゾーン壁量充足率の比が0.5以上になることを確認する。平成12年告示1352号（ただし、令第82条3項2号の偏心率の計算を行い、偏心率が0.3以下であることを確認すれば、免除される。）



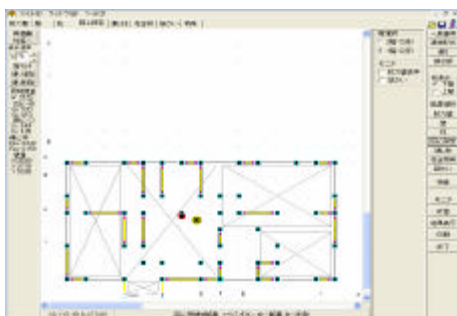
の倍率を
壁量を
チェック
して
強度を
確認
する



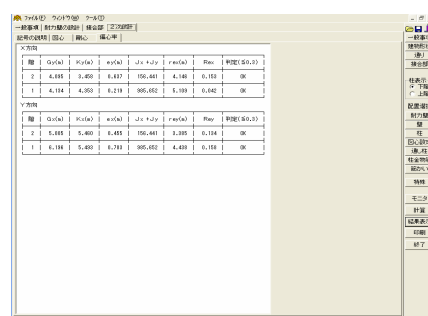
壁量の
バランス
の検討を
1/4
分割し
チェック！

偏心率の計算

令第82条3項2号の偏心率の計算を行う。建物の図心、剛心を計算し、図心と剛心の距離が0.3以下であることを確認する。



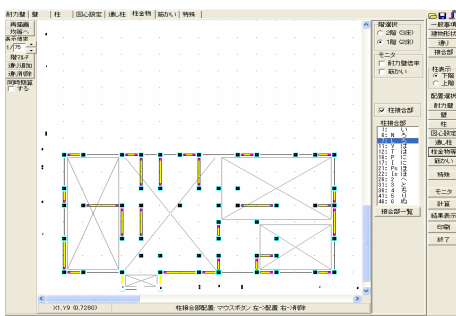
画面に
図心と
剛心の
位置が
出るので
その場で
確認でき、
修正も
できる！



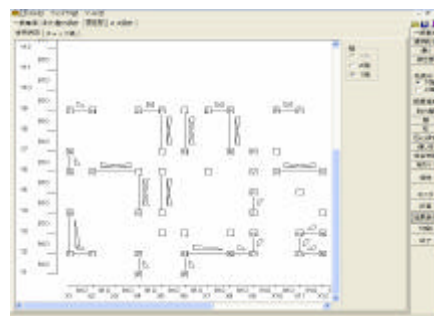
出力で
偏心率を
計算し
0.3
以下か
確認
チェック！

N値計算・接合金物の検討

告示平12建告第1460号に準拠して、接合部の計算を行い金物を選択する。金物選択方法は、告示平12建告第1460号（ただし、柱に必要とされる引張力を求め、それに応じた接合金物を選択する。）耐力壁の直行している時は、X、Y方向における必要引張力を求め、どちらか大きい方を採用する。



柱に
場所
に金物
を配置
して、
検算
を行い
チェック！



自動
計算
により、
柱の
場所
に金物
の記号
を自動
配置
する。

株式会社 デジタルデザインシステム

〒104 - 0033

東京都中央区新川2 - 2 2 - 5 板井ビル3 F

TEL 03-5541-6635 FAX 03-5541-6638

URL <http://www.netdds.co.jp>

E-mail info@netdds.co.jp

住宅設計担当者の方へ 4号特例 の見直しに対応 地震に強い住宅設計なら『安心住宅!』におまかせ!! お求め安い価格(6万円)で新発売!

2階建て以下の在来工法木造住宅一貫処理構造計算書作成システム

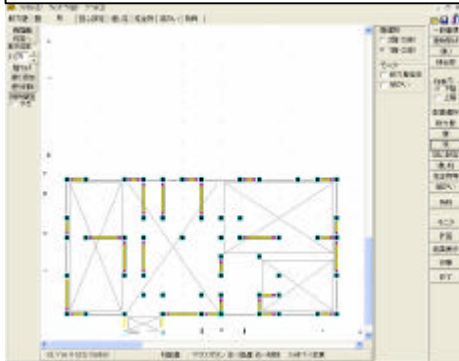
建築確認申請書類に付けるだけで、計算書なしの確認申請より、N値計算による金物の選定計算を行うことで確実に金物の使用量が少なくなります。

また、建物を安心して、販売するためにも、地震に強い、バランスの良い、設計をお望みでは、ありませんか?

2階建て木造住宅設計で、構造計算を必要ないと考えている、工務店の方、意匠設計担当者の方に、ぜひ、ご検討ください。

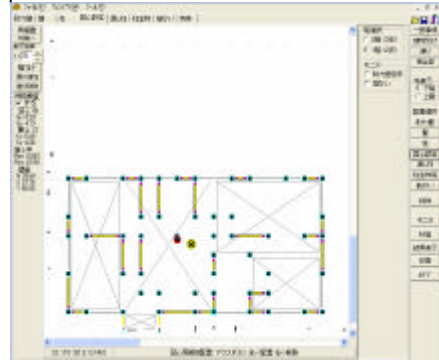
入力は、構造計算の知識がない設計者を対象に極力デ-タ量を少なくしました。

柱・壁配置は、グラフィック画面により、マウス入力で、簡単に配置できる!



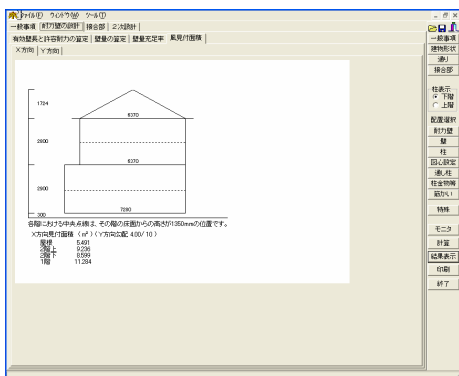
柱・壁配置がその場で確認できる

壁の配置による、建物のバランスチェックも画面を見ながら、壁の配置を修正できる!



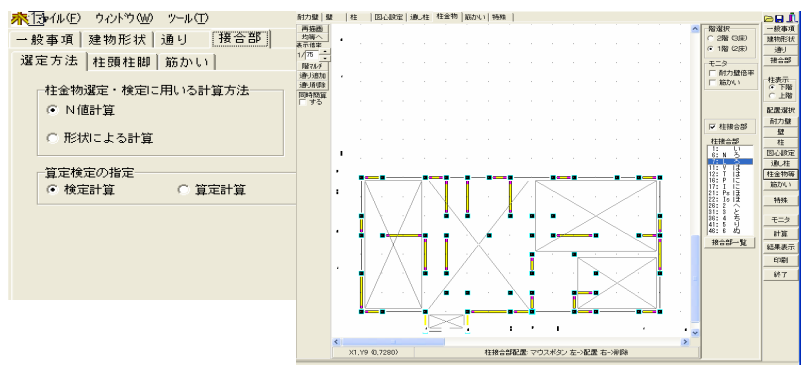
壁倍率配置でその場で偏心率が確認でき、その場で修正できる

面倒な床面積の計算
受風面積の計算の自動化



受風面積が簡易図で確認できる

柱接合部の金物の選択は、N値計算で最初より、金物の配置による検定方式と自動計算により、金物を選択する算定方式の2種類がある。



金物指定配置と計算による自動選定方式が選択できる